



さくら市立氏家小学校 学校だより

7月号

氏小だより



大志ちゃん

令和6年7月18日発行

発行者 氏家小学校長

よく考える子 なかよくする子 体をきたえる子 すべての子どもが輝く学校

もうすぐ夏休み ～充実した37日間を～

令和6年度のスタートから71日（1年生は69日）が経過し、1学期前半が終わろうとしています。その間、保護者や地域の皆様には、毎日の児童の送り出しや見守りをしていただき、ありがとうございました。おかげさまで児童は安心して学校に通い、日々の学習や学校行事、たくさんの体験活動などに一生懸命に取り組んできました。その成果は子どもたちの成長に表れていると感じています。

いよいよ、7月21日から8月26日まで、37日間の長い夏休みが始まります。夏休みならではの様々な体験を通して、一回り大きく、そしてたくましくなってくれることを期待しています。

しかし、楽しみな一方で毎日のようにニュースで子どもたちの事故や事件のニュースが流れます。そのようなことにならないために、担任や児童指導主任から児童に向けて話をしました。子どもたちに心がけてほしいのは「安全な生活」です。交通事故や水の事故、熱中症などに十分注意して「命を守る」ことを考えて行動してほしいと思います。子どもたちの安全で楽しい夏休みのために、ご家庭や地域のご協力をよろしくお願いいたします。

★校内陸上競技大会 6月20日★

5・6年生の児童全員が参加し、さくらスタジアムで校内陸上大会がおこなわれました。種目は、100メートル走、50メートルハードル、走り幅跳び、ボール投げ、1000メートル走の5種目です。児童は、いずれかにエントリーして自分の記録に全力でチャレンジしました。タータンの上を初めて走る児童もいて、とてもよい経験になったことと思います。保護者の皆さんからいただいた応援が児童の力になりました。お世話になりました。



★歯と口の健康教室 1～4年生★

自分の歯を大切に、健康な生活を送る基礎を養うため、1年生～4年生までの児童を対象にそれぞれの目標に合わせて「歯と口の健康教室」を行っています。歯科医さんや歯科衛生士さんに来ていただいて歯の観察や汚れのチェック、正しい歯磨きの仕方、食生活の見直しなどをしました。児童は家から持参した鏡で自分の口腔内をよく見ていましたが、予想外の歯の汚れに驚いていました。体験をともなって歯の大切さを実感してくれたことと思います。



★リモート対面式・地域安全会議 6月25日★

日頃から児童を見守ってくださっている氏家駅交番所長様、警察スクールサポーター様、交通指導員様、安全パトロールの皆様をお迎えして児童とのリモート対面式をおこないました。代表児童からは、日頃のお礼と「これからもよろしくお願いします。」の気持ちをお伝えしました。全校児童が各教室から大きな声でお礼を届けました。

その後、地域安全会議を行いました。児童指導主任から学校の取組を説明し、各地区の区長様や保護者の皆様からは、パトロールや交通当番をしていて気づいたことや児童のあいさつについて感想やご意見をいただきました。お褒めいただいた内容を後日児童に伝え、今後もあいさつや交通安全を心がけて登下校することを確認しました。また、いただいたご意見をもとに、危険箇所の改善のため行政などにも働きかけていければと思います。今後とも、学校・家庭・地域が協働していければ幸いです。よろしくお願いいたします。



★図書室は楽しい！読書は楽しい！★

図書室の担当者と保護者のボランティアの方々が協力して読書週間に「花みくじ」を作ってくださいました。くじの内容は「1冊借りられる券」「本の予約券」「大志ちゃんしおり」「1冊借りられる年間パスポート」などです。このような取組をきっかけに児童の利用が増えており、今年度は過去最高の貸出数となっています。児童の様々な興味や希望にそった本、読んでほしい価値ある本を今後も購入していく予定です。さくら市で推進している4読活動は「朝読」「家読」「すきま読書」「チャレンジ読書」です。ご家庭での「家読」に、どうぞご協力ください。



★PTA奉仕作業 7月6日★

コロナ以前以来、約5年ぶりにPTAの奉仕作業が実施されました。土曜日の早朝から多くの保護者の皆様や児童が集合し、熱心に除草作業や植木の刈込作業を行っていただきました。日ごろから児童と職員で環境整備を行っていますが、草木の伸びに追いつくのは難しいものでした。今回の奉仕作業では、400名の参加をいただいたおかげで、大変きれいになりました。児童のためにお忙しい中おこしく下さり、大変ありがとうございました。



成長するものを見ているのは、いいものです。胸がスツとして、気持ち前向きになるのを感じます。だから、成長真っ只中の子どもたちがいる学校が大好きです。

の彼らと重なります。成長するものを見ているのは、いいものです。胸がスツとして、気持ち前向きになるのを感じます。だから、成長真っ只中の子どもたちがいる学校が大好きです。

かろう
陽炎が立つほどの暑い日が続いています。中庭には、一年生の朝顔が見事に花を咲かせますが、暑くは苦手とばかりに、口中はぐったりと葉を休ませています。それは対照的なのが糸瓜(イトウリ)つまり「ちまみ」です。イトウリは略して「トウリ」言われますが、「ト」の字は「いろは歌」イロハニホヘトチロマルノでは「チ」の間にあるので「へち間(へちま)」といわれるそうです。1年生が朝顔の種を蒔く頃は、朝起きながら登校する子が見られたのを思い出します。わずか2か月あまりで、きれいな花をたわなに咲かせている朝顔を見ると、今ではすっかりたくましくなった子どもたちと重なります。

へちまは、4年生が観察をしています。太陽を受けて蔓をぐんぐん天に向かて伸ばしている姿が活発になってきたキヤングエイジの彼らと重なります。

校長室の窓から

炎天に バテる朝顔 横に見て

太陽めざし のぼる糸瓜

児童の日々の活動をぜひご覧ください。下のQRコードから氏小のホームページにアクセスできます。保護者や地域の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

